

ECPRの1年を振り返って



(株)JAえひめ
 総合情報センター
 センター長

玉 矢 啓 介

平成27年3月、人事異動の内示により「えひめ地域政策研究センター」へ出向が決まりました。「えひめ地域政策研究センター」は愛媛県信連から継続して職員が出向しているという知識しかなく、どういった組織なのか分からないため、ホームページを検索して、「ECPR」(この時、初めて略称「ECPR」を知りました)の「設立目的」は「地域政策やまちづくりに関して総合的に調査研究を行う」、「事業内容」は「調査研究並びにその成果の公表及び政策提言事業」、「意識啓発及び人材養成事業」等の記述がありました。それだけでは理解できず、自分に務まるかどうか不安でした。

最初に取組みをしたのは、年2回発行している調査研究情報誌「ECPR」(vol.136)の編集でした。毎号テーマを選定し、そのテーマに関連のある方々に執筆を依頼するのですが、テーマおよび執筆候補者の選定は自然系の得意なY研究部長から指定していただき、執筆候補者の方々の掲載されている新聞記事の切り抜きおよびホームページ等を検索



除草作業(福井県池田町)

誤を重ねての作業となりました。執筆を受けていただいた方には、取材のため現地訪問し、各地域で地域資源の保全活動に長く取り組んでいる方々のお話を聞くことができました。「vol.136」のテーマは「地域の自然を守り、地域づくりに活かす」ということで、兵庫豊岡市のコウノトリの野生復帰の取組み、ヤギによる除草の取組み、日本最少のトンボ「ハッチョウトンボ」の保護活動など地域に根付いた地道な活動を通して地域づ

しながら、電話およびeメールで執筆依頼をしました。

本の編集作業は初めてのことなので、過去の編集履歴として残されているファイルを見ながら試行錯誤

くり貢献している方々の取組みを紹介することができました。

次の担当業務は、県教育委員会の文化財保護課から委託された「名勝指定候補地調査事業」でした。四国八十八か所霊場と遍路道の世界遺産化に向けて県内名勝指定候補地の現地調査を行う事業で平成25年から27年の3か年事業の最終年度でした。愛南町・第40番札所観自在寺から四国中央市・第65番札所三角寺まで県内26ヶ寺の札所、別格霊場、遍路道、および周辺にある弘法大師・空海のゆかりの名勝地の現地取材を行いました。八十八か所霊場のうち、私がお参りしたことのある札所は、石手寺と太山寺のみで、それ以外の札所は寺名、場所とも知りませんでした。1年で県内26ヶ寺のうち21ヶ寺の札所、別格霊場、遍路道の現地取材を行いました。遍路道では毎年、愛南町で開催されている遍路道を活用したウォーキングイベント「トレッキング・ザ・ザ・空海あいなん」に参加しました。愛南町にある遍路道「柏坂」「松尾坂」を歩くイベントで、毎年多くの人が参加しており、地元中学生のお接待もあ

り、気軽に「遍路文化」を体験できました。



伊予の四国遍路ガイドブック

また、この名勝指定候補地調査で撮影した風景やお遍路さんの写真が多くあったので「伊予の四国遍路ガイドブック」を作成することとなり、その編集を担当しました。ゼロからの編集作業のため、センターにあった八十八か所札所のガイドブック、札所関連のホームページを参照しながら、編集を行い、県内26ヶ寺の由来は各札所に、四国遍路の由来、参拝の作法は先達さんに原稿の確認を依頼し、時には札所を訪問し、原稿の修正をお願いしました。各札所の由来、紹介だけでなく、周辺の観光地、四国遍路の開祖・衛門三郎伝説、第46番札所浄瑠璃寺から第51番札所石手寺までの1日歩き遍路コースの紹介、Y研究部長撮影・監修の遍路道ギャラリーの掲載などユニークなガイドブックとなりました。発刊は5月頃を予定していましたが、私が異動となったため、28年度のスタッフの皆さま

んに校正等の引継をお願いして、7月に発刊していただきました。

ECP Rが主催、関連しているイベントとしては、本誌に連載をお願いしている人間牧場主・年輪塾々長、若松さんの「年輪塾公開セミナー&10周年の集い」に参加、年輪塾では毎年、歴史上の偉人を取り上げ学んでいます。27年度は「日本の陽明学の祖」と呼ばれ、大洲市にゆかりのある「中江藤樹」について、瀬戸内海を一望できる伊予市双海町の高台にある「人間牧場」において各地で地域づくりに取り組んでいる多くの方々と一緒に



年輪塾公開セミナーの様子

に学びました。同様に本誌に連載をお願いしている岡崎さんの近代化遺産まち歩きツアー（八幡浜・保内町）にも参加、菊池清治家、四国初の防空壕である八幡浜第一防空壕、旧白石和太郎家などの近代化遺産を見学、参加の皆さんと貴重な体験ができました。

最後になりましたが、2年はECP Rにお世話になると思っていました。1年で出向元に復帰することとなり、短い間で戦力とはなりませんでしたが、出向元の愛媛県信連では経験できない貴重な1年でした。ECP Rの今後益々の発展をお祈り致します。ありがとうございます。



近代化遺産まちツアー（白石和太郎洋館）